

令和5年度 熱意ある創業支援事業補助金【募集要領】

令和5年度 熱意ある創業支援事業補助金の募集要領は以下のとおりですので、募集要領の内容を確認いただいたうえで、申請をお願いいたします。

1. 目的

移住・定住又は地域の魅力発信に係る、地域課題の解決が見込まれる事業等の創業に対して、必要な経費を補助することにより、本市における創業機会の拡大を図り、地域経済の活性化に寄与することを目的とします。

2. 補助対象者

移住・定住部門

以下の(1)～(9)の要件を全て満たす者であることが必要です。

(1) 創業者であること

- ・ 交付決定日以降に事業を開始する者であって、その代表となる者

(2) 市内に主たる事業所を設置し、事業を開始する者

- ・ 個人創業については、創業時において市内に居住する者
- ・ 会社設立については、市内に主たる事業所を設置する者

(3) 交付申請年度の前年度の4月1日から創業日の前日までの間に県外から市内に移住し、かつ創業する日から3年間市内に居住する者

(4) 許認可等を要する業種にあつては、許認可等を受けていること（例：飲食店、古物営業等）

- ・ 許認可等を受けることが確実に認められる者を含む

(5) 創業する日の前日までに次のいずれかに該当する者であること

ア 福井発！ビジネスプランコンテストの最終選考会で発表されたプランのグループメンバー又は当該プランに基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

イ 福井市が主催するX SCHOOL / X STUDIOの発表会で発表された事業のグループメンバー又は当該事業に基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

ウ 福井市が主催するDiscoverE - FUKUIの発表会で発表された事業のグループメンバー又は当該事業に基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

エ 福井市が主催するInterweaveの発表会で発表された事業のグループメンバー又

は当該事業に基づいて創業することについて、当該グループメンバー全員の同意を得ている者

オ 福井市創業支援等事業計画で定める特定創業支援等事業を受けた者

- ・ワンストップ相談窓口（福井商工会議所）
- ・開業をテーマにしたセミナー（福井商工会議所）
- ・創業ハンズオン支援（特定非営利活動法人アントレセンター）
- ・創業相談窓口/伴走型巡回相談（福井東商工会、福井北商工会、福井西商工会）

(6) 市町村税を滞納していないこと

(7) これまでに福井市起業家支援セットメニュー事業補助金の交付決定を受けたことがないこと

(8) 福井市暴力団排除条例（平成23年福井市条例第22号）第2条第1号から第3号までに規定する暴力団、暴力団員又は暴力団員等でないこと

(9) 同種の事業（日本標準産業分類中分類（平成25年10月改定）を基準とする）の経営を継続していないこと

地域の魅力発信部門

以下の(1)～(7)の要件を全て満たす者であることが必要です。

(1) 創業者であること

- ・交付決定日以降に事業を初めて開始する者であって、その代表となる者

(2) 市内に主たる事業所を設置し、事業を開始する者

- ・個人創業については、創業時において市内に居住する者
- ・会社設立については、市内に主たる事業所を設置する者

(3) 地域の魅力発信を目的とした事業を開始する者

(4) 小売業又は飲食業を開始する者

(5) 創業する日から3年間市内に居住する者

(6) 許認可等を要する業種にあつては、許認可等を受けていること（例：飲食店、古物営業等）

- ・許認可等を受けることが確実と認められる者を含む

(7) 創業する日の前日までに次のいずれかに該当する者であること

ア 福井発！ビジネスプランコンテストの最終選考会で発表されたプランのグループメンバー又は当該プランに基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

イ 福井市が主催するX SCHOOL / X STUDIOの発表会で発表された事業のグループメンバー又は当該事業に基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

ウ 福井市が主催するDiscoverE - FUKUIの発表会で発表された事業のグループメンバー又は当該事業に基づいて創業することについて当該グループメンバー全員の同意を得ている者

得ている者

エ 福井市が主催する Interweave の発表会で発表された事業のグループメンバー又は当該事業に基づいて創業することについて、当該グループメンバー全員の同意を得ている者

オ 福井市創業支援等事業計画で定める特定創業支援等事業を受けた者

- ・ワンストップ相談窓口（福井商工会議所）
- ・開業をテーマにしたセミナー（福井商工会議所）
- ・創業ハンズオン支援（特定非営利活動法人アントレセンター）
- ・創業相談窓口/伴走型巡回相談（福井東商工会、福井北商工会、福井西商工会）

(8) 市町村税を滞納していないこと

(9) これまでに福井市起業家支援セットメニュー事業補助金の交付決定を受けたことがないこと

(10) 福井市暴力団排除条例（平成 23 年福井市条例第 22 号）第 2 条第 1 号から第 3 号までに規定する暴力団、暴力団員又は暴力団員等でないこと

3 . 補助対象事業

以下の(1)～(7)の要件を全て満たす事業であることが必要です。

(1) 地域課題の解決につながる事業で、本市の経済活性化に寄与すると認められる事業であること

(2) **2 . 補助対象者** 移住・定住部門(5)ア～エまたは、地域の魅力発信部門(7)ア～エについては、発表されたプラン又は事業であって、これまでに本補助金の交付決定を受けたことがない事業であること

(3) 福井県信用保証協会の定める保証対象業種であること

(4) 国、県、市その他の公的機関が実施する同種の補助金を受けている事業でないこと

(5) 風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和 23 年法律第 122 号）第 3 条第 1 項に基づき許可を受けなければならない事業所でないこと

(6) 支店、支社、フランチャイズチェーン店、のれん分け等としての事業でないこと

4 . 補助限度額及び補助率

補助限度額及び補助率は以下のとおりです。なお、審査の過程において、予算額、総採択件数、個別経費の内容等を精査し、申請額より減額する場合がありますのであらかじめご了承ください。

(1) 補助限度額 100 万円

(2) 補助率 1 / 2

5 . 補助期間

(1) 開始日 交付決定日

(2) 終了日 次のア～イのいずれか早い日

ア 個人創業については創業日、会社設立については設立日

イ 令和6年3月29日(金)

補助事業終了後60日を経過する日又は令和6年3月29日(金)のいずれか早い日までに、支払いを終え、実績報告書等を提出する必要があります。

6. 補助対象経費

経費	補助対象経費	
工事費	・ 創業する事業所に係る新築、改築、解体及び撤去等に必要な経費	
設備費	・ 事業実施に必要な機械装置、器具等の購入、改造に要する経費	
備品購入費	・ 事業実施に必要な物品の購入に要する経費 (車両及び汎用性のある品を除く。)	
商品開発費	・ 創業する事業に係る商品開発のための試作費のうち、外注加工費、委託料、技術指導費、産業財産権導入費	
	外注加工費	・ 原材料等の再加工、設計等を外注する場合に要する経費 ・ 自社で直接実施することができない開発又は適当でない開発の一部について、他の事業者への外注に要する経費
	委託料	・ 分析、試験、調査等を委託する場合に要する経費
	技術指導費	・ 開発に当たって外部からの技術、デザイン等の指導を特に必要とする場合に要する経費
	産業財産権導入費	・ 産業財産権の導入に要する経費
広告宣伝費	・ バンフレット、カタログ等のデザイン及び印刷に係る経費 (名刺の印刷費を除く。) ・ 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌、ホームページ、ソーシャルネットワークサービス、マスコミ広告に係る経費 (サーバーメンテナンス費等の継続的な経費を除く。)	
会社の設立に係る経費	・ 会社の設立に伴う、司法書士、行政書士等に支払う官公庁への申請資料作成経費 (税金(消費税及び地方消費税、登録免許税等)、収入印紙、各種証明書交付手数料等を除く。)	

(1) 補助対象となる経費は、次の事項をすべて満たすものとなります。

- ・ 使用目的が本事業の遂行に必要なものと明確に特定できること
- ・ 領収書、振込依頼書、請求書などの証拠資料等によって金額及び内訳が確認できること
- ・ 契約日、発注日、購入日等の全てが交付決定日以降であること

- ・工事費については完了日が、それ以外の経費については納品日が、創業日又は設立日前であること
 - ・支払日が実績報告日前であること
- (2) 下記に該当する経費は対象となりません。
- ・国、地方公共団体、独立行政法人から補助を受けている事業経費
 - ・補助対象経費に係る消費税及び地方消費税
 - ・金融機関などへの振込手数料（取引価格の内数になっている場合を除く。）
 - ・汎用性があり、事業以外での目的外使用になり得るもの
（例：ノートパソコン、文書作成ソフトウェア、タブレット端末等の購入費 等）
 - ・上記のほか、公的な資金の用途として社会通念上、不適切と認められる経費
- (3) その他
- ・支払は原則銀行振込又は現金で行ってください。

7. 事業の採択方法

(1) 審査方法

- ・申請者を対象に審査会を行います。
- ・審査会では申請書及び申請者による事業計画説明（質疑応答を含む）により審査を行います。

ア 審査会スケジュール

- | | |
|----------------------|-------|
| ・申請者による事業計画説明 | 10分程度 |
| ・申請書及び事業計画説明に対する質疑応答 | 15分程度 |

イ 審査項目

- ・独自性
- ・地域課題の解決
- ・経済活性化
- ・創業への熱意
- ・実現可能性

ウ 事業の採択

- ・審査項目について、審査委員の合計得点の高いものから順に採択の適否を判断します。
- ・順位が上位であっても要件に満たないと判断した場合は、不採択とする場合があります。
- ・審査会の結果は、各申請者へ後日書面にて通知します。
- ・採択された事業については事業名、事業者名、屋号を公表します。

(2) その他

- ・創業後6月を経過して以降の確定申告又は決算ごとに3回、経過報告書を提出し、面談を受けていただきます。

8 . 募集方法

(1) 募集期間 令和5年4月6日(木) ~ 予算額に達した時点で終了します。

(2) 申請方法

- ・ 募集期間中に、申請書等必要書類を全て揃えて福井市役所商工振興課まで事前連絡の上、持参してください。
- ・ 申請書等の様式は、窓口、ホームページ上にて配布します。
- ・ 申請書類提出後の書類の差し替え、追加提出は原則行いません。
- ・ 提出された申請書等は返却いたしません。

9 . 取り消し

交付決定を受けた者が、次のいずれかに該当する場合は交付決定の全部又は一部を取り消すことがあります。

また、取り消しを受けた者が既に補助金の交付を受けているときは、当該取り消しにかかる金額を指定の日までに返還していただきます。

- (1) 創業前に交付決定事業の全部若しくは一部を中止し、又は廃止しようとするとき。
- (2) 虚偽その他不正な手段により補助金の交付を受けたとき。
- (3) 交付決定の内容又はこれに付した条件に違反したとき。
- (4) 補助事業の目的に反したとき。
- (5) 正当な理由なく、フォローアップ面談を受けなかったとき。
- (6) 国、県、市その他公的機関が実施する同種の補助を受けるとき。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が特にその必要があると認めたとき。

10 . 問い合わせ先について

福井市 商工労働部 商工振興課

〒910-0858 福井市手寄1-4-1 (アオッサ5階)

連絡先 : 0776-20-5325

E-mail : syoukou@city.fukui.lg.jp